

## 平成30年度 第2回文化財保護審議会 会議録

### 〔開催日時〕

平成31年3月25日（月曜日）午後2時30分～午後4時

### 〔開催場所〕

伊勢原市青少年センター 工芸室

### 〔出席委員〕

鈴木 良明（会長）  
川島 敏郎（副会長）  
永井 治子  
佐藤 健  
清水 擴

### 〔事務局〕

鍛代 英雄（教育長）  
谷 亀 博久（教育部長）  
立花 実（教育総務課歴史文化担当課長）  
井出 智之（教育総務課）

### 〔公開可否〕

公開

### 〔傍聴者数〕

0人

### 《審議の経過》

午後2時30分開会

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

#### 3 議事

##### (1) 報告

ア 伊勢原市文化財保護条例に基づく指定・登録について  
事務局より説明

第1回の審議会で審議いただいた「賓頭廬尊者座像」、「北条幻庵印判状」（伊勢原市指定文化財）、「青い目の人形」、「大山道道標追加」（伊勢原市登録）について平成30年10月23日の教育委員会議で答申どおり議決した。

##### 〔委員〕

30年度は2件と登録1件、追加1件となり、確実に裾野がひろがっている。計画的な指定・登録は必要である。気になる点は古文書についての指定・登録が少ないようである。把握できている資料については、指定・登録して保存してはどうか。文書の散逸が気になる。

##### 〔事務局〕

御指摘のとおり、所在が分かっている文書についても代替わりなどにより散逸するケースもある。

- イ 文化財調査「大福寺本堂」、「勝興寺本堂・客殿」について  
清水委員より説明  
大福寺については、雨漏りのため部材が一部腐っていたが、当初のままの部材が残っている。  
勝興寺の客殿については、県内でも貴重な建造物である。伏見宮の別邸であったことが資料で確認できれば、国登録にすることは可能だと考えられる。  
〔事務局〕  
記録が残されているか、資料を確認する。
- ウ 歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業について  
事務局より説明  
〔委員〕  
旅行会社が企画するツアー等で、宿坊側はできるだけ対応したいと思っているが、調整できないこともある。  
〔事務局〕  
商工観光課にも報告し、業者とも連携をとるよう心がける。
- エ 文化財保護法の改正に伴う都道府県大綱・市町村地域計画について  
事務局より説明  
〔委員〕  
伊勢原市は地域計画を策定する意向はあるのか。  
〔事務局〕  
策定する方向で、今年度から来年度にかけて動く予定である。
- (2) その他
- ア 手中明王太郎大工道具調査について  
事務局より説明  
今回の調査成果が竹中大工道具館の紀要に掲載されることになった。
- イ 古文書等の資料について  
佐藤委員より説明  
先導師が少なくなり、資料の把握・跡継ぎへの説明が急務となってきた。  
土地建物の売却によって貴重な資料が失われる恐れもある。  
〔委員〕  
市史ダイジェスト版も発刊されたので、市の所有資料も含め、今後新たな対応を考える必要がある。

午後 4 時閉会